

令和6年度 第2回港北高校学校運営協議会 議事録

令和6年11月14日開催

1 資料

- (1) 令和6年度港北高等学校学校運営協議会委員名簿
- (2) 学校評価報告書実施結果（4月～9月）
- (3) 風通しの良い職場アクションプラン実施結果（4月～9月）

2 2学年総合的な探究の時間「中間発表」視察 各委員からの講評

- ・テーマ設定が素晴らしかった。
- ・小学校でも探究を実施しているが、仮説・検証のプロセスは高校でしかできないことだと実感した。
- ・小学校でもやりたいことを継続して取り組ませることの重要性を実感した。
- ・前向きに取り組んでいる生徒が多かった。
- ・教員の時間管理が適切だと感じた。
- ・発表原稿がスマートフォンだったので驚いた。
- ・プレゼンテーションを端末で行っていたが、スライドの見せ方の工夫が必要である。
- ・視聴覚室の整備が必要だと感じた。キャスター付きの折りたたみ机を整備し、平場を活用してほしい。
- ・生徒の「話す」、「聞く」の切り替えが早かった。
- ・外部との連携をしてはどうか。上級学校の生徒との交流も可能ではないか。
- ・コンピュータに関する指導はあるのか。
→小中学校からされている。高校でも情報の授業を通して行っている。
- ・グループラーニングの大切さを実感した。

3 令和6年度前期の取組について

【学習支援グループ】

科目選択のDX化を行った。教員にとっても生徒にとってもメリットは大きく、今後も継続していきたい。

【生徒支援グループ】

学校保健について、感染症の流行はまだ少ない。生徒指導について、多数の生徒は基本的な生活習慣が身に付いている。一方、ルールやモラルを守っていない生徒も増えてきた。かながわ子どもサポートドックは2年目を迎えている。独自の質問項目や生徒の慣れについては対応を検討する必要がある。

【進路支援グループ】

本年度は新カリキュラムでの初めての大学入試であるため、制度の変更について教員対象への説明を行った。校内模試にも反映させていきたい。また、総合型選抜や学校推薦型選抜の普及により、進路決定時期が前倒ししている。1、2年生対象の進路ガイダンスも合わせて前倒ししていきたい。

【活動支援グループ】

体育祭や文化祭といった大きな行事は終了した。本年度は文化祭における異装に変更を加えた。前年度からプロジェクトチームを立ち上げ、議論を重ねての変更であった。今年度のアンケートは現在整理中で、次年度に生かしていきたい。あすなる交換会やどろっぷの出店など文化祭では地域団体との連携も行った。感謝申し上げる。

本年度より部活動の補正予算編成に向け準備を進めている。

【開発・広報グループ】

刷新した探究プログラムを実施中である。生徒が考えた外部機関との連携に応えきれなかったのは課題である。よりよい方法について考えていきたい。

授業力向上について、第2回の研修では光陵高校の先生方を講師としてお招きした。本年度のテーマである生徒の導き方について理解を深めることができた。

ホームページについて、部活動のページの更新方法を模索している。

学校説明会は、現在のところ予約でいっぱいである。体育館ではなく教室で実施している。

【管理運営グループ】

大型電子黒板が急ぎよ配備された。連絡体制について検討していきたい。

ワークライフバランスや働き方改革を実施している。業務の整理も並行して進めている。時間外労働時間は昨年度比で減少している。一方、年休の取得が年5日未満の職員も数名いるので改善したい。

不祥事防止について、外部講師による研修だけでなく、学年やグループでスローガン考えた。

4 質疑

○ODX化では、何を使用しているのか。

→スマートフォンから google form を通して回答している。

○外部との連携でうまくいかなかったこととは。

→一般向けアンケートや企業訪問を希望する生徒がいるものの、校内でルール整備ができておらず、実現できなかった。環境やルールの整備を行っていききたい。

○かながわ子どもサポートドックの役割とは。

→いじめの発見である。

加えて、自死願望のある生徒の発見を全国に先駆けて行っている。回答を拾い上げ、プッシュ型面談につなげている。県としては効果があがっていると判断している。

5 ご意見

○4年生との交流を継続的にお願いしたい。

○探究は、総合学科では外部との連携等自由に行っている。普通科も行ってみてはどうか。

○横浜市の子育て支援にもDX化の波は来ている。

子どもたちがとことん打ち込むのは重要。

生徒と対話をしながら制度を変えている点は素晴らしい。

○卒業生の人材バンクを組織してほしいという要望が以前あった。朝日新聞のコラムの効果もあり、掘り起こせている。橋渡しができるようになりつつある。卒業生の活用の際は申し出てほしい。

以上。